

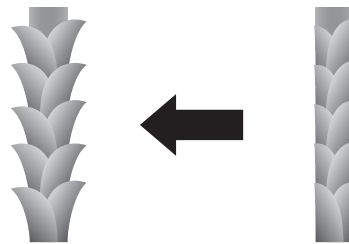
6

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

羊毛でできた衣服は、洗濯の仕方に注意しないと縮んでしまうことがあります。このような現象は、どうして起こるのでしょうか。これは、羊毛のもっている性質によるものです。羊毛の表面には、スケールと呼ばれるギザギザしたうろこ状のものがああります。このスケールは、乾燥状態だと閉じているのですが、水にぬれると開きやすくなるという性質をもっています。スケールが開いた状態で強くこすったりもみ洗いをしたりすると、繊維どうしがからみ合ってすきまがなくなるフェルト収縮と呼ばれる現象が起き、縮んでしまいます。これを防ぐためには、押すように手洗いするなど優しく扱うことが大切です。また、水の温度を途中で変えることも厳禁です。急な温度変化は、繊維に強い力をかけたのと同じことになり、やはり縮んでしまう原因となるのです。

もう一つ忘れてはいけません。それは、羊毛がアルカリ性や高温に弱いたんぱく質でできているということです。アルカリ性の洗剤や高温のお湯で洗うと、繊維そのものが変質してしまい、羊毛が本来もっている柔らかさが失われてしまいます。それを防ぐためには、中性洗剤を使い、三十度程度のぬるま湯で洗うのがよいとされています。最初から最後まで冷たいままの水を使ってもよいのではないかと思う方がいるかもしれませんが、それでは洗浄力が落ちます。

衣服には取り扱い絵表示が付いていて、洗濯をする際に気を付ける内容が示されています。お気に入りのセーターやカーディガンなどを長く大切に着るためにも、洗濯の仕方について正しい知識をもっておきたいものです。



スケールが開いている状態

スケールが閉じている状態

一 線部「このような現象」とありますが、何と呼ばれていますか。本文中から探し、六字で抜き出しなさい。

二 次は、衣服に付いている取り扱い絵表示の一つです。羊毛でできた衣服を本文の内容を踏まえて洗濯する場合、次の取り扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないことは何ですか。あとの1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。



- 1 アルカリ性の洗剤で洗うこと。
- 2 高温のお湯で洗うこと。
- 3 中性洗剤で洗うこと。
- 4 ぬるま湯で洗うこと。